

新座市行財政改革推進実施計画の進捗状況 (令和5年度)

1 目標値の進捗状況

第5次総合計画前期基本計画では、施策の達成状況を可視化するため、客観的な指標及び目標を設定しています。それらを、本実施計画においても目標値としており、計画に定めた「取組一覧」に示す取組を通じて下記の目標を達成することを目指しています。

項目	現状値 (策定時点)	実績値					目標値
		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
男性職員の育児休業取得率	13.68%	69.23%					30%
財政調整基金の残高 (年度の最低残高)	39.4 億円	42.8 億円					35億円 以上
市税収納率	97.80%	98.51%					98.7%
経常収支比率	96.10%	98.51%					95%未満

2 各取組の評価

「取組一覧」に示す取組ごとの内部評価を集計しました。各取組の詳細は、別紙「新座市行財政改革推進実施計画評価シート（令和5年度）」を参照してください。

※評価・取組事業数は担当課別に集計しています。		評価			取組 事業数
		A	B	C	
1 行政の効率化・高度化の推進	(1)行政経営の推進		1		1
	(2)職員の能力向上と組織の活性化		6		6
	(3)民間活力の活用	1	3	1	5
	(4)DXの推進による業務効率化とサービスの向上	4	10		14
	(5)広域連携の推進		1		1
	(6)公共施設等の適正な管理		3		3
2 健全な財政の確立	(1)規律ある財政運営の推進		8		8
	(2)財源の確保	1	4		5

3 令和5年度重点取組事項の評価

重点取組事項とは、新座市行財政改革推進実施計画を効果的かつ着実に推進するため、本計画に盛り込んだ取組のうち、特に力点を置いて取り組む事項を毎年度選定したものです。令和5年度は、次の2項目を重点取組事項としました。

重点取組事項Ⅰ PDCAサイクルに基づいた行政運営の推進

施策1 行政の効率化・高度化の推進 (1)行政経営の推進 1 PDCAサイクルに基づいた行政運営の推進

現状・課題	限られた人員・財源を最大限活用し、市民満足度の高い市政運営を進めるためには、市の施策や事業について、費用対効果を検証しながら成果を評価し、評価結果を予算編成へ反映させるなど、PDCAサイクルに基づいた行政運営を推進する必要があります。本市でこれまで実施していた事務事業評価については、評価結果が予算編成への反映に十分に結びつかない等、作業量に見合った成果が得られないといった課題があったことから、効果的な評価の実施方法や評価結果の活用方法について検討する必要があります。				
取組内容	客観的データ等に基づく総合的な視点から評価方法を確立し、実効性のある見直し・改善となるよう、適切な行政評価を推進するとともに、予算編成等を通じて、検証結果を確実に施策・事務事業へ反映します。				
年度別計画	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	行政評価制度の確立	推進	推進	推進	推進

実績	総合計画、市デジタル田園都市総合戦略、行財政改革推進実施計画の進捗管理を効率的・効果的に行うため、外部委員で構成される政策評価委員会を設置した。また、次年度から始まる評価の手法を検討した。 【委員会実施数】2回 【主な議題】 <table><tr><td>第1回</td><td>(1) 委員長及び副委員長の選出について (2) 新座市政策評価委員会について (3) 第2期新座市地方創生総合戦略の改訂について</td></tr><tr><td>第2回</td><td>(1) 行政評価の方法及びスケジュール等について (2) 新座市の現状等についての情報共有について ア 新座市の財政状況について イ 第15回新座市民意識調査の結果について (3) 新座市行財政改革推進実施計画 令和6年度重点取組事項について</td></tr></table>	第1回	(1) 委員長及び副委員長の選出について (2) 新座市政策評価委員会について (3) 第2期新座市地方創生総合戦略の改訂について	第2回	(1) 行政評価の方法及びスケジュール等について (2) 新座市の現状等についての情報共有について ア 新座市の財政状況について イ 第15回新座市民意識調査の結果について (3) 新座市行財政改革推進実施計画 令和6年度重点取組事項について
第1回	(1) 委員長及び副委員長の選出について (2) 新座市政策評価委員会について (3) 第2期新座市地方創生総合戦略の改訂について				
第2回	(1) 行政評価の方法及びスケジュール等について (2) 新座市の現状等についての情報共有について ア 新座市の財政状況について イ 第15回新座市民意識調査の結果について (3) 新座市行財政改革推進実施計画 令和6年度重点取組事項について				
課題を踏まえた今後の取組	予定どおり評価体制の確立を行うことができた。令和6年度から評価を実施していくが、今後の施策の推進により効果的・効率的に反映できる評価となるように評価手法等について継続的に見直しを行っていく必要がある。				
内部評価	■ A：順調に推移した □ B：おおむね順調に推移した □ C：進捗が遅れた				
外部評価における意見等	P D C Aサイクルを回すに当たって、各段階でデジタル技術の積極的な活用を行うべきである。例えば、評価段階において積極的に A I を活用し、職員負担の軽減と評価の客観性の担保を図りつつ、現場感覚の評価も取り入れられるようにするなど、デジタル技術の積極的な活用を検討すべきである。				

重点取組事項 2 計画的な公共施設等の改修改築・統廃合・長寿命化等の推進 （公共施設等総合管理計画の推進）

施策 1 行政の効率化・高度化の推進 (6)公共施設等の適正な管理 1 公共施設の計画的・効率的なマネジメント

現状・課題	昭和40年代から昭和50年代までにかけての人口急増期を中心に整備を進めてきた公共建築物やインフラが、近い将来に一斉に更新時期を迎えます。厳しい財政状況の中で、多額の財源を要する公共施設の更新、統廃合、長寿命化は、前期基本計画期間内におけるもっとも大きな課題の一つとして位置付けられています。 また、人口減少社会を迎え、利用需要の変化が見込まれる中、公共施設等の在り方について、総合的に検討することが求められています。				
取組内容	公共施設等総合管理計画に基づき、計画的な改修・改築を進めるとともに、施設総量の適正化に向けた公共施設の再配置について検討を行います。				
年度別計画	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	再配置の検討	再配置の検討	再配置の検討	推進	推進

実績	令和7年度末までに公共建築物の再配置に係る計画を策定することとし、令和5年度は計画策定までの具体的な手順や令和6年度以降に業務委託により実施する事務について内部的な検討を行った。 また、公募型プロポーザル方式による計画策定業務受託候補者選定を令和6年2月から3月にかけて実施した。
課題を踏まえた今後の取組	令和6年度は施設の基礎調査（立地や建築年度、コスト、改修履歴等）、実際の施設利用者を対象とした利用状況調査、施設所管課へのヒアリング調査等を行い、施設の類型別に課題を洗い出し、現状を整理する。その上で、適切な施設数、施設の機能、社会的ニーズ及び提供を行うサービス等の今後の方向性を検討する。 また、同時に策定を進めている立地適正化計画の方向性を踏まえ、地区別に公共施設の適正な再編・再配置方針及び施設機能の見直し等を検討し、計画策定に向けた事務を進める。
内部評価	☐ A：順調に推移した ☒ B：おおむね順調に推移した ☐ C：進捗が遅れた
外部評価における意見等	・ 財源の確保は課題であるが、新しい施設を作る際は、新座市の元気が感じられるように市民参加型で作り直していくという機運を高めて、市への愛着が深まるよう取り組むよう期待する。 ・ また、資金調達においては、ふるさと納税やクラウドファンディングを活用するなど、様々なアイデアを検討すべきである。 ・ 今後50年を見越して考える必要があるが、今利用している住民への配慮を怠らずに計画を立て、推進されることを期待する。